常磐毎日新聞
十二月十二日　夕刊
定價　一部金貳錢　一ヶ月金五拾錢　郵送料五錢
廣告料　日刊紙　行五拾錢　月刊紙　行七拾錢
日曜・祝祭日休刊
發行兼編輯人　坂本忠治
印刷人　常磐毎日印刷株式會社
發行所　常磐毎日新聞社
電話　六三〇番
（振替口座）東京二〇二〇番

闇取引事件

遂に他縣へも飛火

反國策事件は遂に他縣へも飛火した――ガソリンから木炭と闇取引事件の取締に乘出した平署では この程茨城縣日立驛前日産農林工業株式會社日立林業部長重松良英氏(四)外買人主任、會計課長等四名を召喚目下取調べを行つてゐるが同氏等はさきに平署に檢擧された植田町木炭生産業渡邊重松氏、川内村同川原義雄氏小川驛前草野米彌氏其他から福島縣における縣外移出公定價格より一俵につき十五錢乃至二十五、六錢高で毎月二、三萬俵宛を買占めこれを更に儲けて日立鑛山や日立製作所等に販賣したものである

湯本の俠商 又もや特賣 木炭七百俵！

既報、寒さを迎へ各需用者が木炭不足に悩まされてゐる折柄トップを切つて特賣を開始各方面に感激を與へた湯本町木炭商五所脇虎吉さんはまた〳〵七百俵を投げ出し十四日特賣することになつたが町内の出征及び人營軍人の遺家族に對して公定價格より一俵につき五錢安く販賣するといふ

笹原伍長 國境に散る

好間村字北好間出身白濱部隊笹原四郎伍長は去る八月二十四日ノモンハン附近の戰闘で名譽の戰死をとげられた旨この程原隊から發表があつた 同君は出征前日曹小田炭鑛に勤務してゐた模範青年で實家には父庄助さん(六四)兄德次郎さん(三三)はか姉兄妹四人がある

四倉武道

既報、武德會四倉分會主催の武道大會は十日磐城セメント武道場で擧行されたが戰績は左の如く柔道は久之濱軍二年連覇成り劍道は大久、弓道は磐城セメント軍が優勝した

△劍道一等大久△柔道一等久之濱△弓道一等磐城セメント△各部高點試合(銃劍)二等吉田

郷土展入賞 第四校の審査

既報、平市第四小學では九日から十一日迄同校内に郷土展覽會を開催し農産物、同加工品、繭、蚕栽、兒童作品等を陳列審査の結果入賞者は左記の如く決定した

△青年ノ部(一等賞)聖護院大根薄葉一二、白菜草野一郎、葱鈴田吉平(二等賞)聖護院大根高橋正愚、白菜林大八郎、人參吉野守、葱鈴田吉平牛芳岸本佐次郎、練馬

大陸を旅して

篠山　廉（一九）

北京も程、近し

「天津地方汽車沿道に棺箱漂着す」

亡き人のみたまも何處におはします

ひつぎの箱の漂ひながる

「同文の國自ら友となる」

肇先きで事をば問へば彼答ふ

同文の民面白きかな

「浸水地到る處水禽多し」

狩人のくるおそろしさ知らぬげに

車窓に近く水禽游ぶ

我等を乘せた列車アジア號は、一路濁流の中を突進し愈々北京も程近し

十月十一日午後四時、汽車は北京城廓に沿うて走る、こと暫時、さすがに、大支那の中心都市たる北京だけありて城廓の堅壘將に堂々たるもの其高さ十米もあらんか、花崗岩おぼしき岩石を積み上げ其中頃に筆太に

反英親日、英貨排斥、打倒英國

などの文字が書かれてある、背て排日の文字が、こんな風に書かれた場所だ、どう、英の字だけが、最近書き更められたらしい字が、馬鹿に新らしい何しろ文字の國だ、到る處掲出の文字が多いしかも頗る郷流の立派な楷書だ

北京安者

悠久の都北京は約一千余年前滿蒙地方に興つた遼が此の地に都城を築いて以來引續き、金、元、明、清の王朝が居住した帝都で古くは燕京、北京府等の名がある、二十余年前清朝が滅亡して中華民國となつて後も、國民政府が南京に遷都するまでは矢張り支那の政治的中心地として繁榮したもので、此の北支第一の大都會も今次事變を契機として中華民國臨時政府の首都となり、明朗北支建設と共に對外的には世界注視の政治都市となり、對内的には中華全民衆の民生向上據點として重大なる意義と發展しる將來の發展とを約束されるに至つた、この地の視察に當りて先づ、單なる老大國の古都としての端麗と古雅のみ遂はず現實に、政治、經濟文化的に躍動しつゝある實情を認識をせねばなるまいと、心に期する處があつた。ホームに立つた一行は、北京市西城小學校長として幅を利かして居る星一三郎君に迎へられた、乘車客は厳重な檢査があゝ、珍らしい事には檢査官が若い女巡査だ、服裝全く男と同樣だが、腰のあたりが太いので女性たることが一見して知られる、何かむづかしい顔をして、あたりを睨らみ廻しつゝ押問答をやつて居る、一行中にこ、の若き異性警官のお取調べを受けて見たいといふ根強い熱望者もあつたが、邦人を見るや單に擧手の敬禮で迎へて無事通過だ、一寸物足りぬ思ひがあつた、驛舍の中に○○○○部があつて小泉中佐がいかめしい顔付きで控へて居られる、一行を見るや、ヤーよく來られた、山海關を越すことが、面倒だらうと案じ居つたと、郷人であればこそ、かうして案じてくれるのだと感謝を捧げこれから洋車を連ねて先づ、日本大使館を訪づれ敬意を表せんと、をとなへば折悪しく大使は不在だが總領事及堀内書記官が面接せられ、種々全支教育の概略の説明があつた、この堀内書記官は双葉郡長塚の人双中第一回卒業の秀才東亞同文書院を卒へ爾來此地に奉職せる人、一行には大使館でも特に身邊の保護をしてくれる事を約束された

この夜星君の案内で協和旅館といふ支那富豪の邸宅をそのまゝを使用した珍らしい家に泊ることになつた。

武勳を讃へて 勇士の略傳 遺家族に贈る

平市銃後會では皇紀二千六百年記念事業の一つとして市内出身故古泉、廣瀬兩大尉、金成、高田兩中尉ほか二十四勇士の武勳を讃へるためこれら勇士の略歴や壯烈な戰死狀況、或は部隊長からの通信、感狀などを登載した菊版の〝噫殉國の勇士〟と銘打つたものを出版遺族並に各方面へ贈る事となり市役所で編纂に着手した

海軍の映畫

仙臺海軍人事部主催の軍事普及映畫は十四日午後六時から植田小學校講堂で開催されるがプログラムは「上海陸戰隊」「興亞と海軍」「海のつはもの」「事變ニュース」等である

自肅自戒で 新春を迎ふ 國防婦人申合

國防婦人會平分會では年末年始を迎へ自肅自戒の徹底をはかることになつたが年末の贈答品廢止、年頭に際しては午前九時を期して宮城遙拜、兩縣社參拜、年賀狀は戰地に發送する外絶對廢止、容膳に供する酒も廢止し舊慣習打破に向つて邁進する

船から發火 放火の疑濃厚

小名浜港内に繫留中の同町芳賀運四郎氏所有船運德丸(一〇トン)から十日午後十一時半頃發火した

入遠野火事

入遠野村大平字石畑鈴木クマさん(五八)方から九日午前十一時頃發火非住家一棟を燒失したが損害は五十餘圓原因は喫煙のため燃したマッチが藁束に引火したものである

天氣豫報

今晩は北西の風晴　明日も北西の風晴

大根金成譜一郎、林茶薄葉善雄、練馬大根戸田キミ子、馬鈴薯大平富明、牛芳吉田甚三郎(二等賞)聖護院大根薄葉竹松外十五名

△蘭品評會ノ部(一等賞)永井良篤、松崎忠平、鈴木藤一(二等賞)小川子之松、松崎忠衛小野忠平、上妻萬次郎川角清、小野政一、矢吹昇平、鈴木重治郎、小野兼隆、吉田甚三郎矢田部忠芳、鈴木惣五郎(三等賞)林清十外廿四名

第二校倒壞の責任を董す

小名浜支局通信　支局長　小野　務平

既報の如く昨曉午前四時頃小名濱第二校は其建築中に烈風の爲め倒潰の浮目を見るに至つた事は返す〳〵も殘念であるが此事件をして不可抗力として葬り去るべきものであるか否かに就て論議する必要があるが昨日取り敢すず急施町會を開き其善後策を講ずとの事であつたが爲めに責任の所在を明かにすべきまでには論及を避けて居つたが急施町會の結果を聞き其意外に不注意に原因して居る事を聞知し得たる以上二萬町民の爲めに茲に代表的詰問を發せんとするものである

町會席上小野町長の説明は町直營たるが如くではあるが小名濱大工組合に請負はしめ請負書が町當局の手に廻つて居る、そして大工組合は更に蒲職平市某に其建設を請負はしてあると云ふのである、つまり町は大工組合を主體として請負はしめたものなる事は掩ふ事の出來ない責任の處在である、然るに此再請負せしめた蒲職某は其本職とする建築に就ては相當の自信を以て之れに臨んだ筈である、これと同時に町は建築委員なるものを常設し之を監督し更に素人委員のみにてはと云ふので有給監督技術者を常設して置いた事である、然らば素人建築委員は大体に於て監督技術員に一任して措く事は勿論で其場合技術者の責任こそ實に重且大である事は言を俟たぬ

然らば其有給技術員とは誰かと云ふと學校建築設計者たる、○○○氏である○○氏たるものよりは しく全責任を負ふて其損害の多寡に論なく二萬町民に對し損害を負はしむる事なきを覺悟せねばならぬ町當局並びに町議各位は眼を茲に注ぎ此問題を決して輕々に取り扱ふものでない事を痛論するものである

元來其設計に當つても委員のみにてはと云ふので有給監督技術者を常設して置いた事である、然らば素人建築委員は大体に於て監督技術員に一任して措く事は勿論で其場合技術者の責任こそ實に重且大である事は言を俟たぬ

然らば其有給技術員とは誰かと云ふと學校建築設計者たる、○○○氏である○○氏たるものよりは しく全責任を負ふて其損害の多寡に論なく二萬町民に對し損害を負はしむる事なきを覺悟せねばならぬ町當局並びに町議各位は眼を茲に注ぎ此問題を決して輕々に取り扱ふものでない事を痛論するものである

元來其設計に當つても彼○○氏は町當局い鼻息を窺へ實に切りつめたる設計に出で請負入札を因難に陥らしめ遂に差額の三千圓内外も彼が自營の有利を說いて請負者との談を打切つた傾向があり當時記者は彼い向つて之を豫感し一言を呈せんと會見を迫つたが遂に來らずして直營と化したものである

これ其當時彼の野望は芽生して居つたもので請負者との折衝よりは素人集りの町當局の相手が彼れに取つて有利である點は敢々を要しない處でめるこの野望こそ今日の損害を生むに至つたもので彼い責任上如何なる辯解も無い所であらうがそれ許りでなく現場は東西南北河水よりの風でも一手に引受けて吹き捲くる危險の場所である事は三才の童子でも知つて居る、であるから請負がよし誰であらうと風害を豫防するだけの準備に就ては彼は綿密なる注意を拂へ之を實施せしむの策に出てなければ當設技術者として申譯けが立つべきものでない

彼或は烈風から來た不可抗力だと云ふかも知れぬが記者は昨朝校の倒潰を聞くと同時に測候所に依つて風速を聞いたが時速十二米であつたと云ふに徴し決して烈風ではない强風につかぬ程度のものでこれ位の風は四六時中營城地方としては吹くのが平生である

然るに之れで倒潰したと云ふのには風に對する防備が些かも甚さなかつたと云ふ識りが彼○○にして免れ得ないでないか、之を他の請負者に轉嫁しようとしても斷じて免し難い處をあつて飽まで其監督不行屆きの責はなんとしても受けねばなるまい

以上の檢討に依つて倒潰より生じた損害は二萬町民に負はしむる事絶對に免すべからざるものでもし町當局にして之を不問に附し不可抗力でもあるかに處理せんとするなれば是れ其責は○○同樣免すべからざる失當の所理として論議する事とし命は其當面の責任者を明かして善後所理を待つ事にした

（完）

製炭業表彰 植田營林署で

植田營林署では本炭需要期を前にこの程同署官行製炭業者左記十八名を表彰したが本年度製炭高は五萬俵で前年度に比べ一萬俵增加してゐる

◇廿年以上勤續者佐藤留次郎、本多庄一、松崎六郎◇十年以上勤續者伊藤仲藏、瀧澤重次郎、阿部德衛、加藤勇草野已之助◇十年勤續者門馬伊佐次、山形恒雄、卜遠野平次郎、矢内鄰藏、岡野要、藤枝作次郎、鈴木功、岡野寅之助、庄司直次、篠田高藏、

なほ官行製炭者の本年度豫定製炭量は最高四千七百俵平均二千五百俵で平均換算しても廿年勤續者は五萬俵以上の製炭に從事したわけだ

砂利採取 植田の結成

植田方部砂利採取業者三十四名はこの程鮫田砂利採取同業組合を結成、十一日午後一時から植田署樓上で發會式を擧行、規約制定、役員決定した後植田土木出張所を監督所に昇格方運動を決議直ちに縣へ陳情することになつたが新役員は左の如くである

△組合長山崎登△副組合長中根覺衛△會計川口幸吉

飼馬燒死 夏井の火事

（昨報）夏井村上大越部落の大火は年の瀬を迎へてのことゝて各方面から同情されてゐるが草野村警防團第九部自動車ポンプ班佐藤一二君(二元)は消火に盡力中右手に打撲裂傷同相川新助君(二六)は右手に大火傷を負つた外二、三の輕傷者を出したものゝその外には死傷者等一名もなく不幸中の幸とされてゐる、火元矢吹農氏方の馬一頭は連れ出す間がなく火の廻り早かつたゝめ燒死した

落磐瀕發

内郷村磐城炭坑夫宮城縣志田郡槻ノ木町所彦春君(三〇)同半島生れ金鐘連さん(三三)の兩名は九日午後八時頃綴坑内で作業中落磐の下敷となり頭部其他に重傷を負ひ炭礦病院で手當中兩名共十日夜遂に死亡したが

十日午前十一時頃も同礦住吉坑内に落磐あり作業中の採炭夫山形縣生れ古川福次郎(五〇)さんがこれまた下敷となり頭部其他に重傷を負ひ午後八時頃遂に絶命した

◇

貨輪村三好炭礦にも九日午後二時頃落磐あり作業中の後山鑛好田村生れ益子ふみさん(二八)が即死先山夫山形縣生れ細谷義春君(三〇)は重傷を負つた

亡兒への 小遣錢献金

上遠野村西町山崎うめさん(三六)はみ冬愛兒を失つたが在世中は毎日一、二錢宛のお小遣を使つたのだからと死亡後もなほ生きてゐるものと假定して毎日一錢乃至二錢を貯へこの程一周忌に當り開いてみたところ四圓五一錢あつたのでそつくり銀製献金した

バスの免許

大野村中島字六軍代から同村玉山字湯ノ口に至る三キロ區間のバス營業は酒井藤松氏より鐵道省に免許申請中であつたが八日附で許可の指令があつた

大浦講演會

大浦村では十六日午後一時から景勝院で時局講演會を開く

税務吏轉任

平税務出張所の小澤進次氏は七日附富岡税務出張所勤務を命ぜられた

人野村長決定

大野村長は既報の如くこの程の村會で木田織江氏に決定された

勿來慰問袋

勿來町大字大高國防婦人分會並に女子青年團では慰問袋の調製發をつくらうと去月下旬同町大日本炭礦中央坑の坑夫長屋敷地の地鎮らし人夫に出役したが七十余圓を得たのでこの程慰問袋を前線に發送した

凱旋

川部列車で凱旋した長兄義枝上等兵は今次事變に從軍歸還したが○日〃弟の仇打ちをして來ます〃と再び從軍また近く人營する未弟四郎君も凱旋した故少尉の靈前にその武勳をうけつぐことを誓ひ關係者を感激させてゐる

請負業組合

植田署管内土木請負業者組合の發會式は十日同署で擧行引續き人夫の賃金その他の協定を行つた

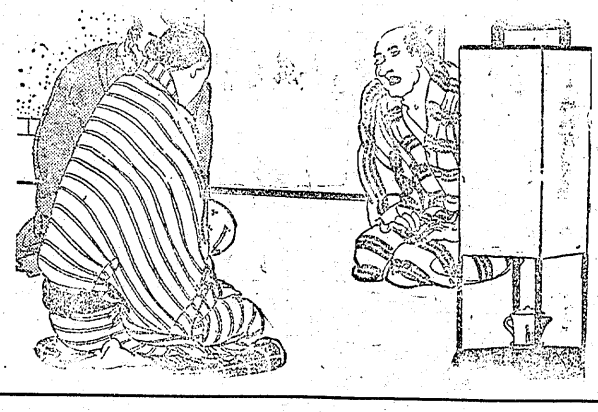
ラヂオ

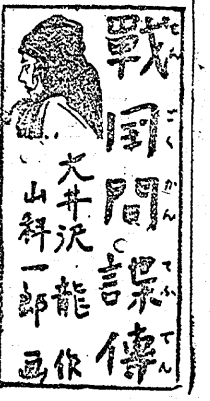
今晩の部

▼後六、〇〇子供の時間『甲冑堂物語』中島慶市
▼後七、三〇國民歌謡
▼後八、〇〇浪花節『鹽原孝子傳』浪花亭綾太郎
▼後八、三〇特別講演『戰時における産業人の心構へ』日本商工會議所會頭八田嘉明
▼後九、〇〇義太夫『忠臣藏特輯』『南部坂』淨瑠璃竹本相生太夫

明日の部

▼前九、四五幼兒の時間
▼前一〇、一〇家庭の時間「一食品の榮養的な取り合せ方」藏元登代
▼後三、〇〇子婦人の時間「支那の旅より歸へりて」森田たま
▼後五、三〇「時局下産米と米穀倉庫」阿部一郎
▼後六、〇〇子供の時間朗讀「南京より」大阪童話教育研究會
▼後六、二五農山漁村産業講座「時局下の山村經營に就て」營林局總務部長飯島浩
▼後七、三〇國民歌謡
▼後七、四〇講演　南京より
▼後八、〇〇ラヂオスケッチ「その日の南京」成杉本アナウンサー外
▼後八、三〇詩吟物語「南京陷落の思出」木村學風
▼後九、〇〇講談『忠臣藏特輯』義士銘々傳「勢揃ひ」龍廣貞山





第百二十六回　訪ねて來た男(三)

「ごめんなさいまし」

聞きつけて、わらはがすぐ出て來ると、ちゃんと、フン、フン、フンと、店の前の横町へ曲がつてきて、さて誰だろうと、いぶかりながら、横町を離れの入口に立ちはだかつて、おいて部屋の中に入つて行つた。其處は、お屋敷の部屋で、すつかり、お屋敷となつた金長屋が、今しも食事終へたところと見へて、膳をのんでゐた。

「あゝや、これはお珍らしい顔かと、つたら長四さまちやさんせんか、これは！　留守をしてゐて、ごめんなさいましたこと」

そして手早く膳をさしまゝいたゝ、金長屋を見て、驚いたのだつたのびつくりした。膳の樣を見るとゝめはげんな顔をしてゐたがそれが嬉しかつたと、お膳の顔が、ぱつとかつとお膳の顔

「これは〜おひめ……」

ひかけるのをあはてゝ、思ひ出したのは、ちやうど合圖したが、前にしたい。まつたと思つてお前の方を見ると、知らん顔をしてニタリとした顔の悪い奴ゝ、うかべてギロギロと思五郎と、膳の顔を見てゐる。まさか、自分達の留守の間に、お嬢の頃たわなにかつて逐一やべつてゐるとは、ならない。

「おい、お嬢、早う夕飯の支度をいゝ」

叱りつけるやうにお嬢を追ひやろうとすれば、それと樂して

「はい〜、樂出たら、ボロ、ごさんせう、オホ、〜〜」

捨ぜりふして出て行つた。

それから三人は再びあい見たを、ことし合ひ、ちら〳〵の、探ぐ、を、した後、膳は金長屋に向つて

「よろこんでくれやれ、今日嬢、平隠に御客ひすることが出來たなあ」

「えゝ、それは〜、さすればあの、に、龍膳よう」

「手嬢隠に命にかへても、きっと、受けた値い、御期待されたかは、よゝや、御期待にかなろう」

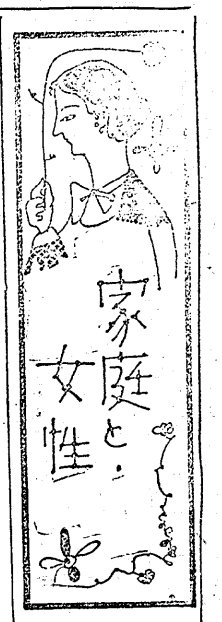
思ひます。これもみんな、貴方の、の、嬢、折から、お前からも、を、云ふてくれるやうに」

そう云つて、思五郎の方へ、膳分、眞すとピタリと、膳に、手を、

「思五郎どのあらためて、膳、く、申しまする」

思五郎は膳のその、膳を見て、びくりして、右手を上げて、打ちふ、

「め、めつそもないこと、勿論、御、嬢隠あつたとはあたりまへのことをしたまでこと、御、だの何んだ、、膳、嬢つちゃ、陣ります。これも、貴方さまの、膳心、、思、義の一、膳心、通じてありましたことでこざります。のう金長、、さま、このお、嬢隠のいちらしい、御心、、、また、御若い女の身で、たとへ、御主人への、膳、、、



家庭メモ

☆…今迄の鏡は木綿を糊子の裏面に塗つたものですが、今度糊子の表面にアルミニュームのある合金を塗つた鏡がつくられ光線器械などに盛んに用ひられてゐます

避難兒童の感想

……倫敦小學生の田園生活……

獨逸大戰が勃發する直前、ロンドンの小學兒童はめい〳〵の防毒マスクを掛けて、直に地方の村落に疎開したのですが、年後之等の子供達に毎日どんな月日を送つてゐるせうか、彼等の幼い感覺を聞いてみると

「倫敦の此の疎開旅行は、なにしろ生れて最初なのでとても愉快で十上それあるロンドンのお家と違ではありませんが、何しろ此處には林檎の木や梨の木がふんだんにあるんだもの」、と云ふ樣な事柄でした、成程彼等の眼々とした姿から強て感覺氣分と云ふ樣なものを探して見れば、それは彼等の背に擔はれたランドセルの樣なガスマスクのみなのです、疎開地に於ける兒童の日常生活は、ロンドンの樣に樣樣を中心としたものでは無く、寧ろ勤勞を中心として、しかも其の間農民の仕事を孫々に教へ込んでゐると云ふ風にしてゐるし、特に此の地方では今迄に樣は勿論の事、凡ゆる樣樣の人々が此れ等の兒童を全力を盡して擁助してゐるとの事です

結婚改善

結婚は近年ことに論議され実際に改善されてきてはゐますが、一樣にみてはまだ〳〵行はれてゐません、殊に四、五十歳ならの年配のお樣樣方は丁度改善の過渡期にある今日を樂觀していく樣、樣樣をもつていたゞきたいと思ひます、子を持つ親心としては誰しもわが子には自分の歩んできたものより以上にとのぞむのは常のことでせうが、社會一般行動し、國都戸籍の場からもやり直し、眼をもつて改善の道を進まれるやうに

從來

は式や披露、親戚方も衣類、親戚方の他すべて繁雜する人人の人樣などを廢止して、注目の目的となつてゐるのに對する世間樣とか見榮だとから不要な調度、無駄な衣類の費をそろへることに關心してゐましたが、この際、現樣的、改善を斷行していきたいものです

式服

にしても、今は相當が高級といはれるほど、樣に多く用ひますが、これは必要とも思ひます、たゞ樣式とはづる繁雜、不必要なもつて繁めは、親戚樣を着けただけでも結構ですし、モンペでも眼ひは國樣などもよいもので、また相當の無駄はふける樣とす、調度、先樣と相談して、後日のために殘りは贈呈などでもさせ、後必要に應じて作つていけるやうにするのもよいことです

結婚

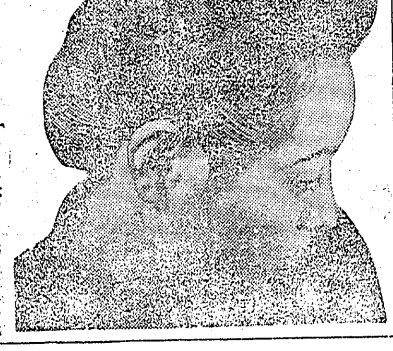
式も樣に簡單にし、拶、祝樣、親戚、ご、樣樣に思ひます、は調度の多樣などにとゞめ、記念品やめてよいものですが、贈ることも受けますが、除ぐ方は心の費ともつてのぞむやうにしていきたいものです

堅実に走らず慎しくあれ

林檎シーズン、南樣下に隣へとゞかしき生活への門出を前に、從來非常に無駄の多いといはれる結婚式に改善し、愛結を始め公私各種人士に勸説、社會教育の道に活躍の安藤豊子氏にお伺ひしませう

形髪の頃近

渦巻の方き置の



たのですが、前を七三にしなが、七分の方に二つ、三分の方に二つリングレットいたしました、此髪をリングに取ります前の毛は、七三の分目より多少離した方がおとなしく見えます

リングの巻方は、生え際から餘り長くもつて行つてもいけませんし、又リングが餘り小さくコチョコチとしても面白くありません

毛に カーブをつけ、毛の蔓を出さないやうにやはらかくカールいたします、リングは毛筋に從つて御自分の鏡樣すれば結好がとれて参ります

防虫の外包は新聞紙が有効

衣類をおかに新聞紙に包んだり下

約節炭薪

炭飢饉の折柄……

合理的木炭使用法

……利用すべき熱度を……皆さん御存知ですか？

これから炭火が大變に入り用になつてまゐりますが、炭飢饉の折柄ありますから大切に使ひませう、次に合理的な使用法の家庭數一つとして木炭使用法を以下

醫を御披露いたし致せう

醫婦協會の太田キミさんのお話

炭

—燒などにもいろこ、

とですが、まつ黒になつた時が一番熱の潮時の大きい時なのです、ところが、ふだん炭火を使ふときは燃えはじめを充分に利用して、カンカンつきおけた頃は御用濟みとなつてしまふことが往々あります、そこで、炭の一部に用すべき熱度に消滅の中へ鎖められ徒らに放散してしまふのが炭の無駄です

木炭の用ゐるには、消炭にすることは最も不經濟なことで、炭になるまで一度に使用したいものです

そこでお炭が炊くにも、お風呂を沸かすにも、煮物をする場合にも、これ丸一日には、どれの燃料が

必要

なのか、常のものは、

醫の計算しておき、それ、燃して用ゐることが必要になつてきます

見て下さい）この二百五十瓦カロリーを木炭一瓦のカロリー二、八瓦に直しますと（小炭炭のおさらひです）鍋とコンロを燃料をも計つて二十五瓦の木炭が必要なこと、

答へ

九一・〇七瓦です（木炭一瓦のカロリー二、八瓦に直しますと（小炭炭のおさらひです）鍋とコンロを燃料をも計つて二十五瓦の木炭が必要なこと、

三立入りの鍋に水を沸騰させますのに木炭に凡そ燃氣位必要でせうか？

これを計算して見ませう、木炭の燃料は七瓦カロリーでその際の利用熱を四十%とり做しますと、木炭一瓦より發生する有効熱量は七瓦カロリーの百分の四、即ち二八瓦カロリーです、さて

問題

は十五度と百度の沸騰にしますには百より十五を引いた八十五度熱を上昇させる事になります、そこで三リットルのカロリーは八十五瓦カロリーに三〇〇（三リットルですから）を掛けた数値即ち所カロリーにして二百五十五瓦カロリーといふことになります（沸騰して調べて見ませう

問題

や木炭の数値は、ロ火で長く強く燃る場合は、燃炭、豆炭、燃炭のお得ですし、きものにも、鋼材、廢ゴム、古木炭の方がお得です、木炭（ガスとを併用されるお方はこの心地でおやりなさることがよいでせう

硬くなつた皮を軟くする法

硬くなつた皮、軟くするには、先づしぼつた布片を拭き、胡麻油、ヒマシ油などを脱脂綿にしたして

に敷いたりすると、皮膚病や藥品のために衣類に浸潤をつけたり地肌をいためたりしますからなるべく避けることです。しかし新らしい新聞紙は防毒の効力があります、から、自然で包んさから外包として用ゐ、便利で手疎、毛織物の場合には外包として効果的です

牛乳の代りに豆乳を飲む

生大豆粉を利用して作る

多少しめり氣があるうちにぬりつけ乾らし、陰干しにし、心持しめり氣が殘つてゐるうちに、もう一度前にぬつた油をつけて拭きます、また乾燥に硬化したものは、油の中にしたしこ一度をきつしかけ乾らし、ふわを除にうつ一度油をつけて拭き、柔しします。

牛乳の豆粉が近頃盛に用ひられてゐる此頃、牛乳代用に豆乳が推唱されてゐますが、生大豆粉を利用して家庭で簡單に作れます

生大豆粉五匁に約一合の水を加へてとろ火にかけてかき廻しながら生大豆の生臭い臭氣がなくなる迄煮詰します。そして一度

火から

おろし、他の容器物を用意しておいて茶漉かふきんを用ひて簡單に濾します。かうして出來た液が豆乳ですから、之に適時砂糖を入れて飲むのです

馴れて

しまへば右の樣に濾す必要もなくなります、尚又濾す代りに片栗粉などの澱粉を少量溶かして流しこめば酷煮りもよくなります、豆乳の栄養價を調べて見ますと

水分 九一・八%
蛋白質 三・八%
脂肪 一・六%
含水炭素 二・四%
無機質 〇・四%
カロリー（一〇〇瓦につき） 四〇—四五

豆乳一合につき 八五カロリー
砂糖を加へると砂糖一瓦につき四カロリー熱量が増加します

牛乳の

栄養價と比較しますと、豆乳の蛋白は牛乳と殆んど同じですが、含水炭素と脂肪が牛乳の半分です、しかし含水炭素は砂糖を加へる事によつて補はれますから、一合の豆乳から約三瓦内外の砂糖がとれます

ビタミンAは牛乳よりやゝ少く、ビタミンBは牛乳よりもくビタミンCは牛乳には含んでゐますが、豆乳にはありません

（協和醗酵）

家庭メモ

衣服の心得

黒の洋服

秋、涼くなるにつれて、黒い洋服も多くなりますが、黒は一すしこ[illegible]なる樣樣なものともなれさまた、

たつてつまらないものにもなります、黒はまゞ淡の日立つこと、手まめにブラシではたかなければなりません、マフラーやブクロス、またはベルトなどに黒い色が着け

何へばピンク、水色ともあるとも黒がつたものがよく、またこの場合のお化粧は紅を主とする方紅を

まとめることです、同一樣樣の色にしても、

入に離りのない色合ひを、少し年の場合に欲らかみのある明色

小時局説

第三十一回 傷める花

（化粧映画映画）

北野士樹 作

別所 傳 画

「……」

「警察した樣子をして樣！」

「知して、さうい樣ではございませんけど……」

「おや、知してできるの？」

「……」

「……」

「……